

## 日本計画行政学会 第36回全国大会のご案内

- 日 時：平成25年9月6日（金）～8日（日）  
■場 所：宮城大学大和キャンパス（宮城県黒川郡大和町学苑1番1）  
■大会テーマ：「ソーシャルイノベーションと地域創造」

### ■大会要旨：

平成23年3月11日の東日本大震災は、これまでの日本の社会構造や経済システムを根本から揺るがすような衝撃を与えた。現在、東北地方は震災復興計画の実現に向けた大いなる挑戦が始まっている。本大会は、学会の3年間の共通テーマである「ソーシャルイノベーションと計画行政」の最終年度として、こうした東日本大震災を超えて東北が目指している様々な震災復興のかたちや既存の制度や限界を超えた新たな東北や新たな日本のすがたを模索していく「ソーシャルイノベーションと地域創造」をテーマに展開する。そこには、新たな国土計画の潮流や可能性、行政改革や政策評価の在り方、創造的復興の具体的なモデル、持続可能な社会創造、健康産業の展開と地域福祉の展望、食とエネルギーの再構築、東北の歴史や文化の継承、農林水産業の再生等、地域の新しい公共の理念を具体化する計画行政上の様々な理論と手法が議論され、それらを踏まえた実践的なソリューションが示されていく必要がある。本大会は、東日本大震災から2年半を経て復興の兆しが見える東北で開催することにより、学会として真の復興のためにいかなる貢献ができるのか、超学際的な視点から多元的な問題提起、討論によって持続可能な未来への提言を導こうとするものである。

### ■大会役員組織体制

#### 【大会会長】

西垣 克 宮城大学学長

#### 【大会副会長】

鴨池 治 東北福祉大学教授

#### 【組織委員会】

##### 委員長

風見 正三 宮城大学教授

##### 副委員長

木谷 忍 東北大学准教授

西浦 定継 明星大学教授

山本 佳世子 電気通信大学大学院准教授

#### 【プログラム委員会】

##### 委員長

藤本 典嗣 福島大学准教授

##### 副委員長

川崎 興太 福島大学准教授

##### 委員

吉田 朗 東北芸術工科大学教授

原科 幸爾 岩手大学講師

安江 紘幸 東北大学助教

金 昶基 東京大学研究員

片山 健介 東京大学特任講師

大和田 順子 認定NPO法人JKSK理事

丸田 雅博 大崎市産業経済部長

#### 【運営委員会】

##### 委員長

関田 康慶 東北福祉大学教授

##### 副委員長

工藤 啓 前東北福祉大学准教授

山崎 和郎 東北学院大学名誉教授

#### 【事務局】

##### 事務局長

徳永 幸之 宮城大学教授

##### 副事務局長

片岡 俊正 ㈱福山コンサルタント技師長

小山 良太 福島大学准教授

### ■費用：（参加費等は、大会当日受付にて申し受けます）

参加費	一般会員	5,000円（研究報告要旨集代1冊含む）
	学生会員	4,000円（研究報告要旨集代1冊含む）
	非会員	6,000円（研究報告要旨集代1冊含む。ただし、参加のみであれば4,000円）
懇親会費		4,000円

※シンポジウムⅠ・Ⅱのみの参加の方は、無料となります。

※お弁当の必要な方は、事前予約で会場にて700円で販売いたします。

※会場で用いられるパソコンのソフトは、パワーポイント2010までのファイルに対応します。報告予定の方は、ファイルを2010までの形式に変換してからご持参ください。

## ■プログラム

<b>【第1日目】 9月6日(金)</b>	
10:20-12:00	研究報告A、ワークショップA
13:00-13:50	開会式
14:00-14:40	基調講演 テーマ：『東日本震災と創造的復興～政府の対応と学会の役割』 講師：大西隆（日本計画行政学会会長、日本学術会議会長）
14:50-17:20	シンポジウムⅠ テーマ：『大震災を超えて～環境エネルギー政策の未来を探る～』 パネリスト（敬称略） 鈴木浩（福島大学名誉教授：都市・地域計画） 植田和弘（京都大学教授：環境経済学） 飯田哲也（環境エネルギー政策研究所長：エネルギー政策） ミランダ・シュラーズ（ベルリン自由大学研究所長：環境政策） 風見正三（宮城大学教授：地域計画、コミュニティ創造） 城山英明（東京大学教授：公共政策） 大西隆（前掲） コーディネータ 原科幸彦（日本計画行政学会名誉会長、千葉商科大学教授、 東京工業大学名誉教授：社会工学、環境計画・政策）
17:30-18:10	総会
18:20-19:40	懇親会（会場「宮城大学本部棟1Fカフェテリア」）
<b>【第2日目】 9月7日(土)</b>	
09:00-10:30	研究報告B、ワークショップB
10:45-12:15	研究報告C、ワークショップC
13:15-15:15	研究報告D、ワークショップD
13:15-16:00	シンポジウムⅡ テーマ：『オーラルヒストリー：政策イノベーションの創発と実践—加藤寛氏とその時代—』 プレゼンター（敬称略） 薄井信明（元大蔵事務次官：税制改革と消費税） 田中一昭（元行政改革委員会事務局長：行政改革と臨調） 板東久美子（文部科学省文部科学審議官：教育改革と慶応SFC） ディスカッサント（敬称略） 小林慶一郎（慶大教授：経済政策、日本経済論） 飯尾潤（政策研究大学院大学教授：行政学、公共政策） 川嶋太津夫（神戸大学教授：大学改革・評価） コーディネータ 細野助博（日本計画行政学会専務理事、中大教授：公共政策）
16:10-16:50	閉会式

## ■協賛団体（50音順）

共催 宮城大学  
後援 （調整中）

■プログラム・会場の構成

		1F		4F							2F
		講堂	カフェテリア	第1会場 403講義室	第2会場 412講義室	第3会場 413講義室	第4会場 416講義室	第5会場 400講義室	第6会場 401講義室	第7会場 402講義室	第8会場 大講義室
9/6 (金)	10:20～ 12:00			A-1 広域計画・都市計画	A-2 地域活性化	A-3 地域コミュニティ・まちづくり	A-4 行政・政治	A-5 (WS-1) 震災を契機に新たな農業社会の構築に向けた取組の合理性と葛藤	A-6 (WS-2) コモন্ズの視点による持続可能な地域づくり?宮城県大崎市ふゆみずたんぼプロジェクト	A-7 (WS-3) 原子力災害と地域社会・経済・産業	
	13:00～ 13:50	開会式									
	14:00～ 14:40	講演									
	14:50～ 17:20	シンポジウム I									
	17:30～ 18:10	総会									
	18:20～ 19:40		懇親会								
9/7 (土)	9:00～ 10:30			B-1 地域計画・都市計画	B-2 地域経済・ソーシャルイノベーション	B-3 環境(1)	B-4 復興・減災	B-5 (WS-4) 農漁村における地域づくりの新しい試み	B-6 (WS-5) 社会イノベーション人材の効果的な育成戦略	C-7 (WS-9) 復興とソーシャル・キャピタル～持続可能な地域創造	
	10:45～ 12:15			C-1 地方自治体の情報化	C-2 地域経済・地域間移動	C-3 環境(2)	C-4 復興	C-5 (WS-7) 大型自然災害からの復興メカニズムと諸アクターの役割	C-6 (WS-8) コモンス創出による復興の地域づくり～東北・夢の桜街道、いわきおてんとSUN、東松島〇〇	C-7 (WS-9) 計画理論に基づく「災害社会工学」の提案	知の共有手法として理解と共感を導く討議プラットフォームの可能性～「ほえ～るカフェ」の実施事例とその検証～
	13:15～ 14:45			D-1 災害情報	D-2 都市政策	D-3 市民参加・市民意識		D-5 (WS-11) 震災からの復興まちづくり～行政が進める復興事業と住民の思いのギャップ	D-6 (WS-12) 持続可能な社会創造における石炭産業および電力産業の影響		シンポジウム II
	～16:00										
	16:10～ 16:50										閉会式

(WS) : ミニシンポ形式のワークショップ

## 研究報告A、ワークショップA 9月6日(金) 10:20 - 12:00

### 第1会場 広域計画・都市計画 (A-1)

座長 和泉潤 (名古屋産業大学)、菅正史 (下関市立大学)

A-1-1 「日本の広域行政施策と自治体の広域連携の変遷に関する基礎的研究：広域行政圏・広域連合・定住自立圏と合併自治体に着目して」

○瀬田史彦 (東京大学)

A-1-2 「中国における都市計画中の住民参加の実態に関する研究」

○LI Sun (北京建築大学)

YU Jing (北京建築大学)

A-1-3 「公共事業計画策定過程の議事録に対するテキストマイニングによる議論内容の把握に関する基礎的研究—淀川水系 流域委員会 を対象として—」

○岩見麻子 (滋賀県立大学・院)

井手慎司 (滋賀県立大学)

A-1-4 「大都市における立体的回遊性の向上に関する研究」

○橋本 祥吾 (大阪工業大学)

村橋 正武 (立命館大学)

A-1-5 「人口減少時代におけるわが国でのコンパクトシティの構築に関する研究」

○山元陽平 (株式会社サポート)

村橋正武 (立命館大学)

### 第2会場 地域活性化 (A-2)

座長 阿部宏史 (岡山大学)、片山健介 (東京大学)

A-2-1 「人口減少・高齢化地区における地域活動参加と住民の意識に関する研究」

○石井義之 (法政大学・院)

保井美樹 (法政大学)

A-2-2 「過疎地域における高齢者の健康に与える社会的要因について—鳥取県日南町の事例から—」

○片野洋平 (鳥取大学)

A-2-3 「中山間地域における ICT 企業誘致による集落再生モデルに関する考察」

○片山裕喜 (徳島文理大学)

A-2-4 「太陽光発電普及に向けた地域特性分析—全国調査と東京都杉並区調査の比較」

○増原直樹 (法政大学)

白井信雄 (法政大学)

A-2-5 「持続可能な水辺空間の創出—親水空間の役割と今後の可能性」

○上山肇 (法政大学)

### 第3会場 地域コミュニティ・まちづくり (A-3)

座長 近藤光男 (徳島大学)、寿崎かすみ (龍谷大学)

A-3-1 「荒川区の街頭犯罪に対する CPTED モデルに関する研究」

○狩野恵介 (芝浦工業大学)

中村広幸 (芝浦工業大学)

A-3-2 「中国における社区商業・社区サービスとコミュニティ・ビジネス—中国におけるコミュニティ・カフェの成立要因に関する一考察—」

○周玲瓏 (滋賀県立大学)

鵜飼修 (滋賀県立大学)

A-3-3 「都市近郊農業集落の持続的まちづくりに関する地域活動の展開に関する研究—滋賀県甲賀市今郷集落を対象として—」

○吉井隆 (滋賀県立大学)

鵜飼修 (滋賀県立大学)

A-3-4 「地方交付税への依存が地方公共サービス提供における技術効率に及ぼす影響」

○坂野達郎 (東京工業大学)

関鉄平 (東京工業大学・院)

A-3-5 「風土工学に基づくまちづくりプロセスの研究—平泉中尊寺通りを事例として—」

○永山克男 (宮城大学・院)

風見正三 (宮城大学)

#### **第4会場 行政・政治 (A-4)**

座長 味水佑毅 (高崎経済大学)、正岡利朗 (高松大学)

A-4-1 「地域間交流を考慮した日本の人口移動と世帯形態の現状およびメカニズム」

○近藤明子 (四国大学)

近藤光男 (徳島大学・院)

A-4-2 「ソーシャル・キャピタルの維持発展メカニズム長野県飯田市の事例研究」

○福島茂 (名城大学)

橋詰三友理 (名城大学・院)

A-4-3 「徳島東部地域における市町村合併の現状と課題」

○早村 陽介 (徳島文理大学・院)

A-4-4 「合併市町村における職員数と人件費はどれほど過大か」

○伊藤敏安 (広島大学)

A-4-5 「入札結果情報を用いた予定価格動向のモニタリングの試み」

○山下巧 (徳島大学)

森本恵美 (徳島大学・院)

滑川達 (徳島大学・院)

#### **第5会場 (WS-1) 震災を契機に新たな農業社会の構築に向けた取組の合理性と葛藤**

(A-5) 司会 木谷忍 (東北大学)

#### **第6会場 (WS-2) コモنزの視点による持続可能な地域づくり～宮城県大崎市ふゆみずたんぼプロジェクト**

(A-6) 司会 大和田順子 (立教大・院)

#### **第7会場 (WS-3) 原子力災害と地域社会・経済・産業**

(A-7) 司会 初澤敏生・小山良太 (福島大学)

## 研究報告B、ワークショップB 9月7日(土) 9:00-10:30

### 第1会場 地域計画・都市計画(B-1)

座長 西浦定継(明星大学)、風見正三(宮城大学)

B-1-1 「総合計画策定における市民参加の現状と課題～宮城県の総合計画を事例として～」

○高橋結(宮城大学・院)

風見正三(宮城大学)

B-1-2 「地域計画における地域住民との合意形成アプローチの現状と課題について」

○近藤卓(宮城大学・院)

相田茉美(宮城大学・院)

風見正三(宮城大学)

B-1-3 「地区マネジメント手法の国際的展開に関する考察～BID 制度の広がりと日本の現状をめぐって」

○保井美樹(法政大学)

B-1-4 「国内法に準拠した BID (ビジネス改善区) 設置条例の制定ー北海道俱知安町とニセコひらふCID/BID の取組」

○山本千雅子(グラデュウス・マルチリンガルサービス株式会社)

國枝弘治(一般社団法人ニセコプロモーションボード)

渡辺淳子(倶知安観光協会)

田中義人(倶知安町議会)

文字一志(倶知安町)

### 第2会場 地域経済・ソーシャルイノベーション(B-2)

座長 戸田常一(広島大学)、今泉博国(福岡大学)

B-2-1 「中堅企業の成長要因」

○諏訪博昭(埼玉大学)

B-2-2 「地方国立大学における企業の博士後期課程修了人材の採用に関するアンケート調査ー長期インターシップはドクターの採用を促進するかー」

○森本恵美(徳島大学)

出口祥啓(徳島大学)

山中英生(徳島大学)

B-2-3 「地域ソーシャル・イノベーションの形成メカニズムに関する考察」

○田代 洋久(大阪市立大学)

B-2-4 「ソーシャル・イノベーションの実現プロセスにおける正統性の類型化」

○味水佑毅(高崎経済大学)

土肥将敦(高崎経済大学)

### 第3会場 環境(1)(B-3)

座長 山本佳世子(電気通信大学)、押谷一(酪農学園大学)

B-3-1 「述語とその必須格に出現する名詞に基づいた政策提言命題の類型～資源エネルギー庁基本問題委員会の議事録を対象として～」

○坂野達郎(東京工業大学)

上甲和輝(東京工業大学)

小橋洋平(東京工業大学)

B-3-2 「都市特性のクロスレベル効果を考慮した世帯規模別エネルギー消費の推計」

○坂野達郎(東京工業大学)

岡井宏太(東京工業大学)

B-3-3 「地方自治体における域気候政策の重点分野 と課題～欧州の「市長誓約」取組みと持続可能なエネルギー行動計画～」

○杉山 範子(名古屋大学)

竹内 恒夫(名古屋大学)

B-3-4 「他の地域に及ぼす影響を考慮した排ガス規制の範囲設定手法の開発」

○小林貴(中央大学)

#### **第4会場 復興・減災(B-4)**

座長 根本敏則（一橋大学）、川上洋司（福井大学）

B-4-1 「南海トラフ巨大地震を想定した津波非常襲域の居住者備え特性」

○氏原岳人（岡山大学）

佐々木麻衣（岡山大学・院）

阿部宏史（岡山大学）

B-4-2 「震災復興段階に応じた段階的バスサービス改善」

○徳永幸之（宮城大学）

吉田菜々子（宮城大学）

内池謙太（宮城大学）

B-4-3 「まちづくりにおけるワークショップの有用性について」

○磯君実（宮城大学・院）

風見正三（宮城大学）

B-4-4 「東日本大震災後の被災地における雇用創出と関連助成金に関する分析」

○大澤理沙（東北大学）

#### **第5会場(WS-3) 農漁村における地域づくりの新しい試み**

(B-5) 司会 木谷忍（東北大学）

#### **第6会場(WS-4) 社会イノベーション人材の効果的な育成戦略**

(B-6) 司会 畑正夫（兵庫県立大学）

#### **第7会場(WS-5) 復興とソーシャル・キャピタルー持続可能な地域創造**

(B-7) 司会 藤澤由和（静岡県立大学）

## 研究報告C、ワークショップC 9月7日(土) 10:45-12:15

### 第1会場 地方自治体の情報化(C-1)

座長 坂野達郎(東京工業大学)、吉田朗(東北芸術工科大学)

C-1-1 「電子政府政策に関する日本政府の戦略と計画」

○本田正美(東京大学・院)

C-1-2 「自治体の都市計画におけるインターネットの活用実態について」

○安達萌絵(兵庫県立大学・院)

福島徹(兵庫県立大学)

C-1-3 「地域活性化を目的としたソーシャルメディア導入の評価～地方自治体を対象としたアンケート調査報告～」

○石橋裕基(一般財団法人関西情報センター)

畑耕治郎(大手前大学)

谷村要(大手前大学)

藤田昌弘(大手前大学)

C-1-4 「災害時を想定した地方自治体の個人情報の取り扱いについて」

○瀧口樹良(札幌総合情報センター株式会社)

### 第2会場 地域経済・地域間移動(C-2)

座長 中川雅之(日本大学)、鎌田裕美(淑徳大学)

C-2-1 「小さな労働組合ほど賃金が高い：日本の市町村の場合」

○西川雅史(青山学院大学)

C-2-2 「地域間取引からみた広域経済圏の動向」

○武者加苗(札幌大学)

C-2-3 「東北地域人口移動 震災前後の比較分析」

○長瀬勇人(三井不動産株)

### 第3会場 環境(2)(C-3)

座長 瀬田史彦(東京大学)、白川慧一(東京工業大学)

C-3-1 「日本の地域社会における持続可能性教育の展開の可能性と課題：北九州 ESD 協議会地域ネットプロジェクトへのヒアリング調査を通じて」

○菅正史(下関市立大学)

田村一軌(国際東アジア研究センター)

C-3-2 「裏磐梯地域でのエコツーリズム活動の現状と問題点 - エコツーリズム関係者を対象とした意識調査に基づいて」

○三部和哉(福島大学・院)

川崎興太(福島大学)

C-3-3 「リーガル・ニューズデータの活用による創制的復興モデルと危機管理デザイン」

○岡本正(弁護士)

C-3-4 「用途地域の違いに着目した親水公園のもたらす外部性の便益測定」

○上山肇(法政大学)

小川元無(法政大学・院)

関口駿輔(石巻専修大学)

### 第4会場 復興(C-4)

座長 徳永幸之(宮城大学)、金和基(日本地域開発センター)

C-4-1 「東日本大震災における自衛隊・米軍の災害派遣活動と世論の反応」

○北村知史(同志社大学・院)

C-4-2 「自然災害からの復旧・復興期における地域メディアの役割」

○加藤貴伸(宮城県柴田農林高等学校)

村山武彦(東京工業大学)

C-4-3 「暮らしの再生と地域づくりー南相馬市における市民による復興まちづくりを事例にー」

○岡田雅代(おかたプランニングラボ)

C-4-4 「復興まちづくりにおける小規模漁村集落のリ・デザイン手法に関する一考察～宮城県南三陸町A集落を対象として～」

○鶴飼修(滋賀県立大学)



## 第5会場(WS-7) 大型自然災害からの復興メカニズムと諸アクターの役割

(C-5) 司会 巖成男 (新潟大学)

## 第6会場(WS-8) コモンズ創出による復興の地域づくり

(C-6) 司会 大和田順子 (立教大学・院)

## 第7会場(WS-9) 計画理論に基づく「災害社会工学」の提案

(C-7) 司会 山本佳世子 (電気通信大学)

## 第8会場(WS-10) 「知の共有手法として理解と共感を導く討議プラットフォームの可能性～「ほえ～るカフェ」の実施事例とその検証～」

(D-8) 司会 泰松範行 (東洋学園大学)

### 研究報告D、ワークショップD 9月7日(土) 13:15-14:45

#### 第1会場 災害情報(D-1)

座長 松本源太郎 (札幌学院大学)、朴堯星 (統計数理研究所)

D-1-1 「東日本大震災からみる、地域コミュニティにおけるソーシャルメディアの活用に関する研究」

- 大向鼓太郎 (宮城大学・院)
- 風見正三 (宮城大学)

D-1-2 「災害時の住民支援のための情報提供プラットフォームの現状と課題」

- 有馬昌宏 (兵庫県立大学)

D-1-3 「リスク確率, リスク認識, 情報の正確性: 原発事故の事前と事後」

- 西川雅史 (青山学院大学)
- 加藤尊明 (北九州市立大学)
- 高原省五 (日本原子力研究開発機構)
- 本間俊充 (日本原子力研究開発機構)

#### 第2会場 都市政策(D-2)

座長 伊藤敏安 (広島大学)、鈴木聡士 (北海学園大学)

D-2-1 「重要伝統的建造物群保存地区での取組みと実態・課題について-全国自治体アンケート調査の結果より-」

- 呂茜 (関西学院大学・院)

D-2-2 「都市人口の趨勢と鉄道利用の関係についての一考察」

- 板谷和也 (一般財団法人運輸調査局)

D-2-3 「都市におけるクリエイティビティを高める要因としての創造都市政策-創造クラスターのコアとしての美術館の実践に着目して-」

- 立花晃 (兵庫県立大学・院)
- 福島徹 (兵庫県立大学)

D-2-4 「多様な価値観が共存するサードプレイス創出に関する研究-地域資源を活かしたカフェの事例を通じて-」

- 小林重人 (北陸先端科学技術大学院大学)
- 山田広明 (北陸先端科学技術大学院大学)

#### 第3会場 市民参加・市民意識(D-3)

座長 福島茂 (名城大学)、保井美樹 (法政大学)

D-3-1 「市民まちづくりへの無作為抽出市民討論会の導入効果とその意義-京都市未来まちづくり100人委員会の事例研究」

- 井関崇博 (兵庫県立大学)

D-3-2 「郵送調査法による市民意向調査におけるAHPの適用可能性」

- 秋山貴 (国立環境研究所)

D-3-3 「社会的企業の萌芽としてのNPOの活動規模の拡大過程に関する研究」

- 畑正夫 (兵庫県立大学)

D-3-4 「善意を活用した制度の持続可能性に関する研究 -日本人の献血行動を事例として-」

- 坂野達郎 (東京工業大学)
- 妻鳥太郎 (東京工業大学・院)

**第5会場(WS-11) 震災からの復興まちづくり-行政が進める復興事業と住民の思いのギャップ-**  
(D-5) 司会 長峯純一 (関西学院大学)

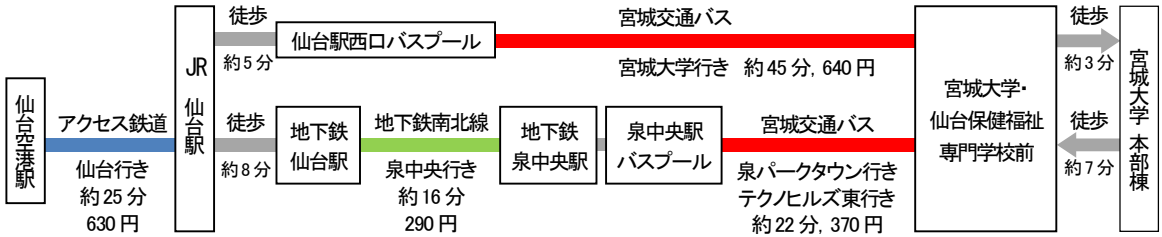
**第6会場(WS-12) 持続可能な社会創造における石炭産業および電力産業の影響**  
(D-6) 司会 市川晃 (関西学院大学)

■今後の予定や変更は、日本計画行政学会のホームページでお知らせします  
日本計画行政学会HP : <http://www.japanpa.jp>

■日本計画行政学会第36回全国大会に関するお問い合わせ先

福島大学共生システム理工学類 藤本研究室 (全国大会プログラム委員会)  
E-mail : [japa2013-09@sss.fukushima-u.ac.jp](mailto:japa2013-09@sss.fukushima-u.ac.jp) (ご連絡はなるべく E-mail でお願いします)  
電 話 : 024-548-8372  
住 所 : 〒960-1296 福島市金谷川1番地

# 宮城大学大和キャンパス アクセス案内



## ○仙台駅からバスご利用の場合

- ・JR 仙台駅から徒歩約 5 分、仙台駅西口バスプール 2 番のりばから宮城交通バス「宮城大学」行きで約 45 分(640 円)、終点「宮城大学・仙台保健福祉専門学校前」バス停車車、本部棟まで徒歩約 3 分。

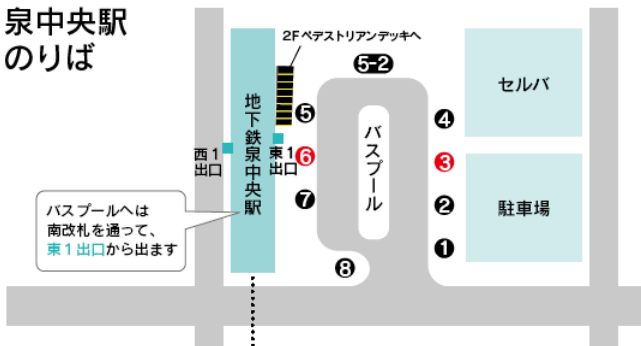
### 仙台駅のりば



## ○地下鉄・バス乗り継ぎをご利用の場合

- ・JR 仙台駅から徒歩約 8 分、地下鉄仙台駅から南北線「泉中央」行きで約 16 分(290 円)、終点「泉中央」駅下車、泉中央駅バスプール 3 番または 6 番のりばから「泉パークタウン」行きまたは「テクノヒルズ東」行きで約 22 分(370 円)、「宮城大学・仙台保健福祉専門学校前」バス停車車、本部棟まで徒歩約 3 分。

### 泉中央駅のりば



## ○タクシーをご利用の場合

- ・仙台駅から約 35 分(約 3,500 円～4,000 円)
- ・地下鉄泉中央駅から約 20 分(約 2,000 円～2,500 円)

なお、仙台市内には「みやぎ台」という団地、「宮城大学・太白キャンパス」もありますので、行き先を告げる際は「泉パークタウンの宮城大学」と教えてください。

# 宮城交通バス時刻 平日 (平成 25 年 1 月 21 日改正)

往路：宮城大学行き

## ■ 仙台駅⇒宮城大学 (平日)

のりば	行先	経由	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
仙台駅 ②	宮城大学	県庁市役所		35 50	18 50	00 45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	05 35
		上杉通		00 20 30 48	10 30 40 55	10 25	05 25	05 25	05 25	05 25	05 25	05 25	05 25	05 25	05 25	05 35	05 30	05	05	

## ■ 地下鉄泉中央駅⇒宮城大学 (平日)

のりば	行先	経由	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
泉中央駅 ③	泉パーク タウン	桂・高森		15 30 45 55	05 15 25 30	05 41	25	15	15 35	15	15 35	15	15	10						
		寺岡・紫山* 泉アウトレット	35	00 36	10 40 50	50	50	50												
	テクノ東	桂・高森				20		35		35		35								
泉中央駅 ⑥	泉パーク タウン	将監殿 宮城大学			05	45		45		45		45		45	45		05	20		

\* 寺岡・紫山・泉アウトレット経由は7分程度時間がかかります。

復路：仙台駅、地下鉄泉中央駅行き

## ■ 宮城大学⇒仙台駅 (平日)

のりば	行先	経由	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
宮城大学 ②	仙台駅前	県庁市役所		27	27	29	29	29	29	29	29	29	29	37	57	59		00		
		上杉通	49	07 47	07 47	09 49	09 49	09 49	09 49	09 49	09 49	04 39 49	24 19 49	17 44 49	17 42 47	19 37	19 39	20 39	30	

## ■ 宮城大学⇒地下鉄泉中央駅 (平日)

のりば	行先	経由	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
宮城大学 ②	地下鉄 泉中央駅	高森・桂				23 40	20 39	20 40	20 39	20 40	20 39	20 40	20 39	00 11 20	06 20 34	00 30	24	29		
		紫山・寺岡*					01	01	01			01		01						
		北高森 将監殿	39	09 39			44		44		44	44	44							

\* 寺岡・紫山経由は7分程度時間がかかります。

# 宮城交通バス時刻 土曜日 (平成 25 年 1 月 21 日改正)

往路：宮城大学行き

## ■ 仙台駅⇒宮城大学 (土曜)

のりば	行先	経由	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
仙台駅 ②	宮城大学	県庁市役所		50	50	45	45		45		45	45	45	45	45	45	45	45		
		上杉通		10	10	05	05	05	05	05	05	05	05	05	05	05	05	05	05	

## ■ 地下鉄泉中央駅⇒宮城大学 (土曜)

のりば	行先	経由	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
泉中央駅 ③	泉パーク タウン	桂・高森		20 50	00		20		15		15		15							
		寺岡・紫山* 泉アウトレット		40	20		35	25												
	テクノ東	桂・高森				20		15		15		15								
泉中央駅 ⑥	泉パーク タウン	将監殿 宮城大学			05	45		45		45	45	45		45						

\* 寺岡・紫山・泉アウトレット経由は7分程度時間がかかります。

復路：仙台駅、地下鉄泉中央駅行き

## ■ 宮城大学⇒仙台駅 (土曜)

のりば	行先	経由	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
宮城大学 ②	仙台駅前	県庁市役所		29	29	29	29	29	29		29		29	29	29	29	30	30		
		上杉通	59	59	59	59	59	59	59	59	59	59	59	59	59	59		00	00	

## ■ 宮城大学⇒地下鉄泉中央駅 (土曜)

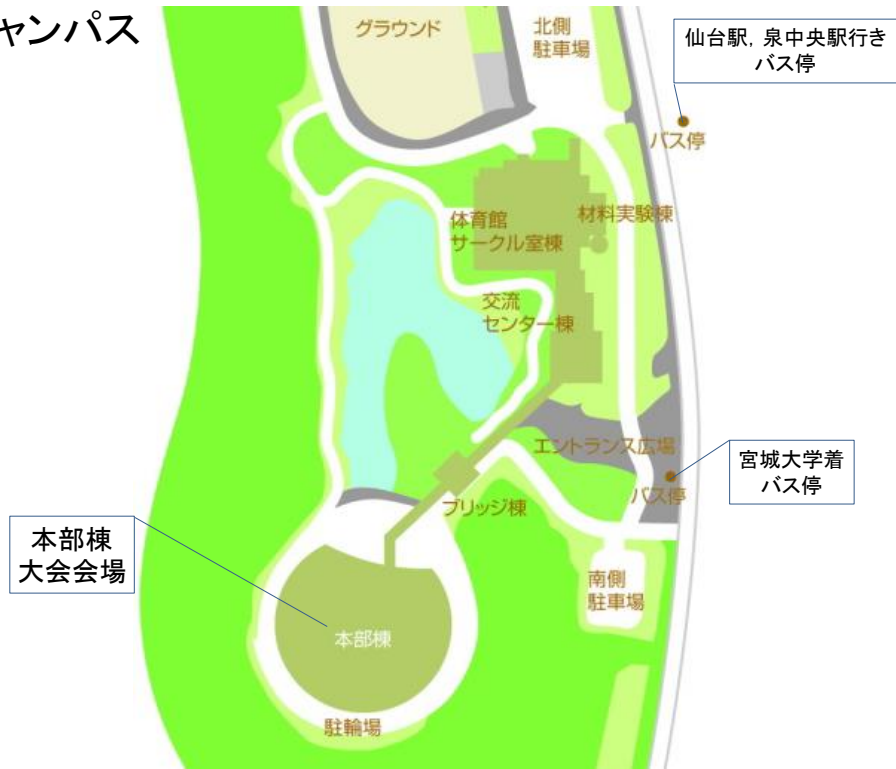
のりば	行先	経由	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
宮城大学 ②	地下鉄 泉中央駅	高森・桂				20	20	20	20	20	00 20 59	20	19	20	19	30	24			
		紫山・寺岡*							01				01	01	01					
		北高森 将監殿		19		04	44		44		44	44	44							

\* 寺岡・紫山経由は7分程度時間がかかります。

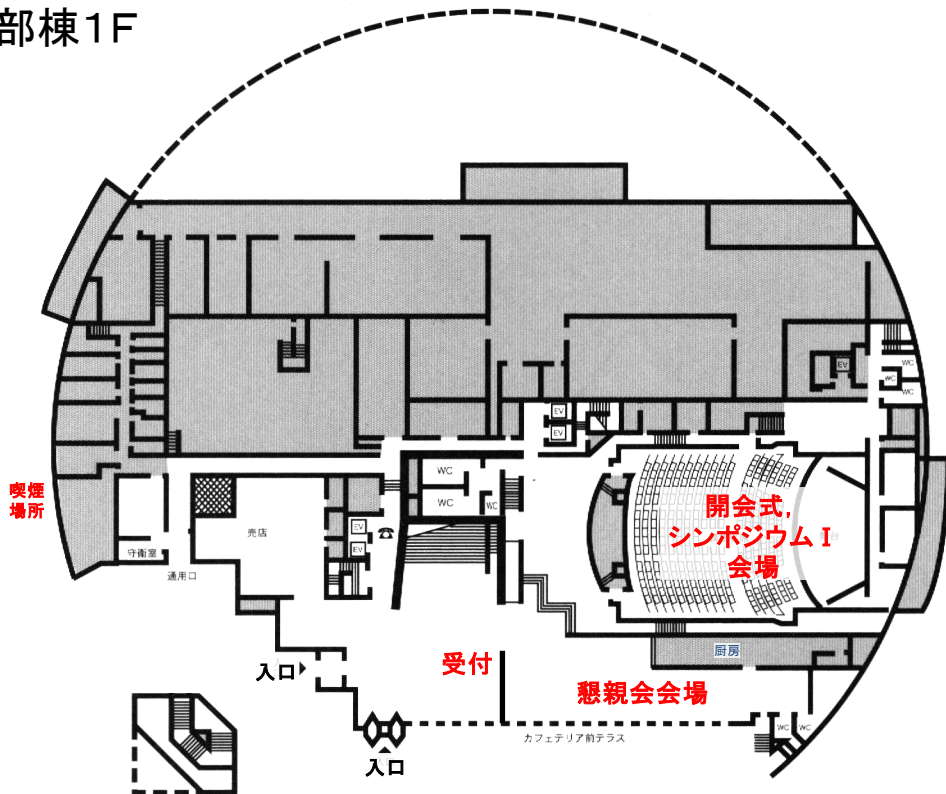
## 地下鉄・バスお得情報

- ・仙台的地下鉄、バスではSuicaは使えませんが、スキップカード等お得なカードがあります。
- ・スキップカードには割増は付きませんが、地下鉄・バスの乗継ぎ時に自動的に40円割引されます。  
(現金でも乗継ぎ割引ありますが、ちょっと面倒。)
- 1000円、3000円、5000円で、地下鉄駅カード販売機で購入できます。
- ・乗継ぎ割引の代わりに割増が付くスキップジョイカードは3000円(3300円分)と5000円(3300円分)です。
- ・バスのみ利用できるメルシーカードは1000円(1100円分)、3000円(3360円分)、5000円(5850円分)です。  
バス車内でも購入できます。
- ・2600円で2日間、JR仙台近郊、仙台空港アクセス線、仙台市地下鉄、るーぷる仙台(市内観光用)などが乗り放題になり、関連施設割引クーポンも付く「仙台まるごとパス」もあります。仙台駅、仙台空港駅で購入できます。詳しくはホームページで(<http://www.sentabi.jp/marugoto/>)。

# 大和キャンパス

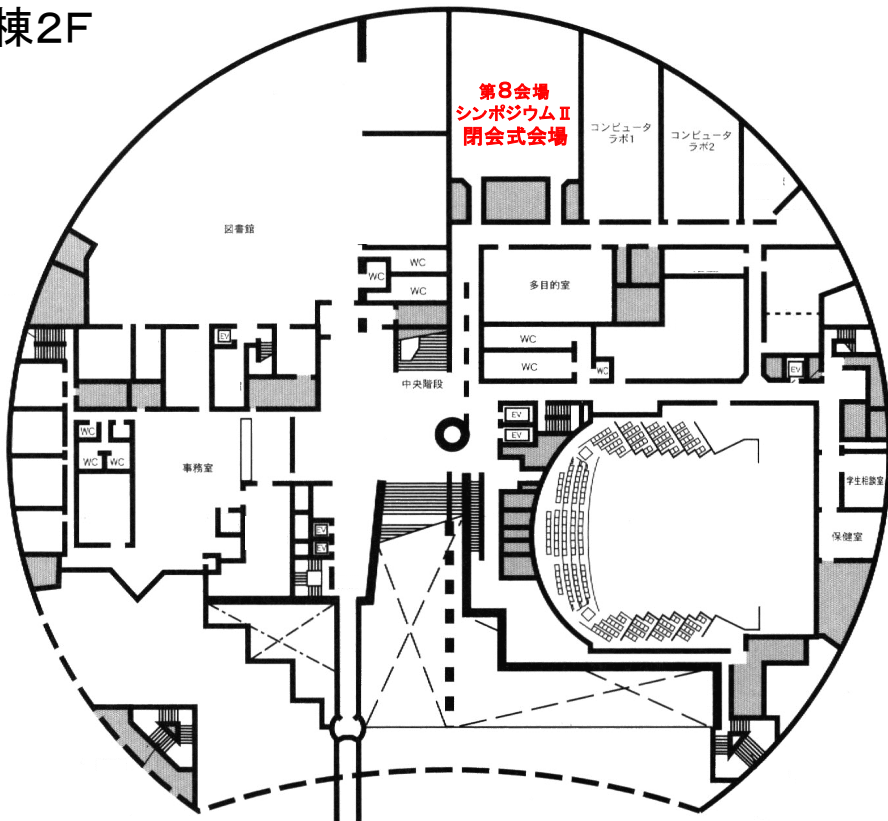


# 本部棟1F

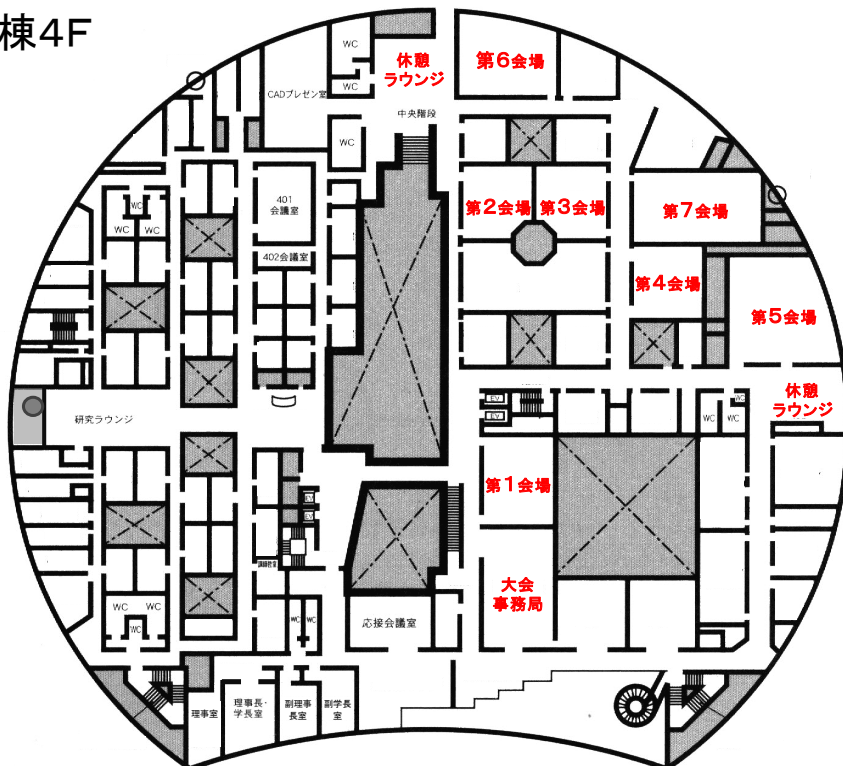




# 本部棟2F



# 本部棟4F



■日本計画行政学会第36回全国大会参加申込書（FAX用）

日本計画行政学会HP (<http://www.japanpa.jp>) から申し込めます（推奨）

出席を希望されるプログラムには出席欄に○印をご記入の上、平成25年8月30日迄に、切り取らずこのままFAXしていただきますようよろしくお願いいたします。↓

「日本計画行政学会第36回全国大会」申し込み用紙

福島大学 藤本研究室 行

FAX：024-531-2033 ※申し込み専用番号

（ふりがな） 氏 名	
所 属	
E-mail	@
電 話	
住 所	〒 -
会 員 資 格 （○を付けて下さい）	①名誉会員 ②特別会員 ③個人会員 ④団体・機関会員 ⑤学生会員

【第1日目】 9月6日（金）

時間帯	内 容	出席欄
10:20-12:00	研究報告Ⅰ、ワークショップⅠ	
13:00-13:50	開会式	
14:00-14:40	基調講演 『東日本震災と創造的復興～政府の対応と学会の役割』	
14:50-17:20	シンポジウムⅠ 『大震災を超えて～環境エネルギー政策の未来を探る～』	
17:30-18:10	総 会	
18:20-19:40	懇親会	

【第2日目】 9月7日（土）

時間帯	内 容	出席欄
09:00-10:30	研究報告Ⅱ、ワークショップⅡ	
10:45-12:15	研究報告Ⅲ、ワークショップⅢ	
13:15-15:15	研究報告Ⅳ、ワークショップⅣ	
13:15-16:00	シンポジウムⅡ 『オーラルヒストリー：政策イノベーションの創発と実践－加藤寛氏とその時代－』	
16:10-16:50	閉会式	

【第3日目】 9月8日（月）

時間帯	内 容	出席欄
09:00-16:00	エクスカーション 「千賀の湾の復興まちづくり（塩竈市・七ヶ浜町）等」（案）	

【お弁当】

お茶付き 700 円ご希望の方は○

9月6日	9月7日

■日本計画行政学会第36回全国大会参加申込みに関するお問い合わせ先

福島大学共生システム理工学類 藤本研究室（全国大会プログラム委員会）

E-mail：japa2013-09@sss.fukushima-u.ac.jp（ご連絡はなるべくE-mailでお願いします）

電 話：024-548-8372

住 所：〒960-1296 福島市金谷川1番地